

高齢者講習受講記

令和2年1月 足立秀一

皆様、すでに高齢者講習を受けられた方も多いと思います。私の方にも昨年8月末ごろに受講案内が送られて来ました。

免許の更新は6か月ほど先なので落ち着いてから講習会場となる近くの自動車教習所に予約を入れようとししばらく置いていました。

予定が落ち着いた10月に申し込みをしたのですが、帰ってきた返事は、3か月後の翌年の1月中旬過ぎ、すぐに受講できるものと思っていましたが、その判断は間違っていました。混んでいるようです。

また、申し込み時の担当者の受け応えは、丁寧さの中にボケていないかの確認作業が入っているように見え、ボケは全くないと自認している私には少し不快感を持ちました。

3か月は早いものでその受講日が遣ってきて、先日受講して来ました。

受講者は、8名であったが、1名欠席の7名でした。（欠席した場合は、キャンセル料を取られる???)

講習は、簡単な講義、視力（静止と動体）・視野検査、そしてコース内の実地運転とトータル2時間のコースでした。

次回75歳を超えるとこれらの検査の他に記憶力や判断力検査が追加されるようです。

今回の私自身の講習結果は、視力や視野にかなり衰えがある様でしたが、実地運転は問題なく行えました。

実地運転では、日ごろ運転している軽自動車とは異なり、教習所の大型普通車の車幅や長さに戸惑いました。

今回、講習を受けてみて、特に問題は指摘されませんでした。日ごろ自身では気づいていない加齢による動体視力などの衰えを自覚させられました。

最初はメンドクサイことを言って来ると嫌々受講したのですが、高齢者講習は、加齢による運転技能を含めた身体機能の衰えを自覚させることにより、安全運転に徹し運転することや場合によっては免許証の返納を促す意味で必要な講習だと感じました。

次回3年後の講習の結果によっては、免許証の返納も??? そうなると好きな海釣りにも行けなくなるので、ぜひ更新したいものですが、その前に釣りに行ける体調が維持出来ているかですね。健康第一です！